

単独マスターを利用するメリット&デメリット

(仕訳行に部門コードや Pro コードを入力する方法)

★メリット

- ・ 部門間の取引は、貸借科目に部門コードを入力すれば良いので 1 仕訳で処理ができる。
個人ごとに定型仕訳登録で部門コードを登録しておけば入力の工数もかからない。
- ・ 部門間の取引の場合、複数マスター間の取引に比べ仕訳件数が半分になることが想定される。
- ・ 消費税一括振替は一回で済む
- ・ 科目枝番部門等の追加は一回で済む
- ・ システムメンテナンス作業はひとつのマスターのみで良い。
- ・ マスター管理がしやすい(各マスターの科目や枝番、部門 追加や整備時)

★デメリット

- ・ 部門コードの入力間違いのチェックが負担になる。
(定型仕訳登録やコピー入力や CSV 入力ではあらかじめ部門コードがあるので利用できる)
- ・ 各自の入力の手間が増える